

現状問題

日々のワークフローの中で何れは...
 ① 勤怠システムを紙で行っている問題がある。

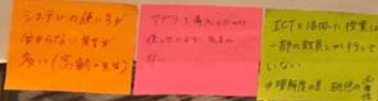


② 情報共有が不十分。



③ ICTへの理解不足

(あるのに活用できていない)



理想像

・現在費やしている時間を減らし、
 無駄な時間・お金の管理が可能!

→見える化により、個人のマネジメントや
 人事担当者による手間・人事計画に活用!
 の軽減

<職員→学生> 見てくれる人を増やせ。
 ・ポータルサイトなどで情報発信しているのを見てほしい。
 ・適切な情報を伝えることで、問い合わせ(減)
 ・どこでも学生が情報を確認できる。
 カンタン!

<教員⇄職員> 教職員の連携により...
 ・円滑な業務の遂行(スケジュール管理など)
 ・手厚い学生サポートが可能!

全教職員がICTを理解し、
 システムを導入すれば、授業の生産性や事務の
 効率化が上がる。
 →学生によりよいサービスを提供することができる。 =

要因・背景

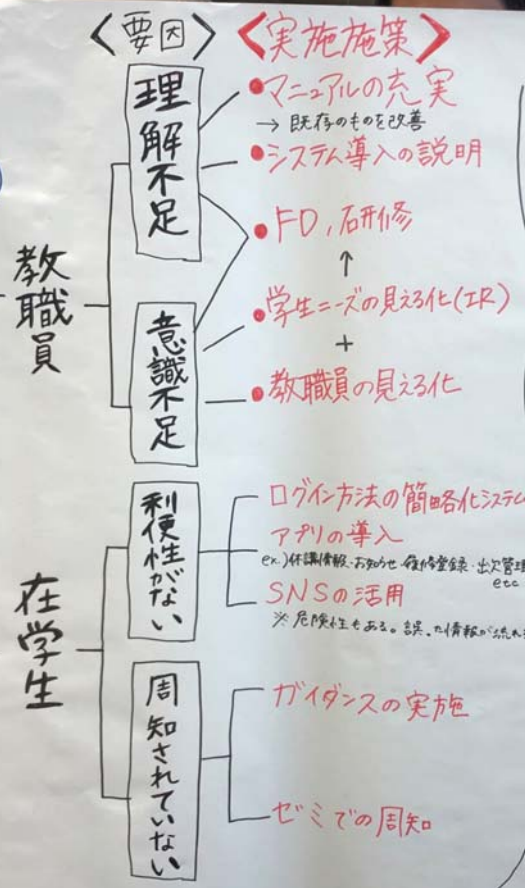
この問題に対する時間
 取れない予算がない。

・ポータルサイトを開くまでの過程が長い。
 (ログイン→お知らせ)
 ・メールの登録をしていない学生が多い。

・研修の不足(先生への)
 ・システム導入の説明不足
 ・教職員間で意識が低い

保護者
 →保護者ポータルへの導入
 ex.) 成績・出欠の閲覧
 緊急連絡・安否確認

現状問題
 「ICTを活用している人が少ない」
 →事例として
 <教職員>
 ・システムICT機器の問い合わせが多い
 ・授業で活用している教員が少ない
 <学生>
 ・ポータルのお知らせの閲覧数が少ない
 ・ポータルにメールアドレスを登録している人が少ない
 ・問い合わせが多い



<要因> <実施施策>
 理解不足
 ・マニュアルの充実
 →既存のものを改善
 ・システム導入の説明
 ・FD、研修
 ↑
 ・学生ニーズの見え化(IR)
 +
 ・教職員の見え化

意識不足
 利便性がない
 ・ログイン方法の簡略化システム
 アプリの導入
 ex.) 研修情報、お知らせ、履修登録、出欠管理
 etc
 SNSの活用
 ※危険性もある。誤り、個人情報流出

周知されていない
 ・ガイダンスの実施
 ・ゼミでの周知

<効果>
 ・問い合わせ(減)
 ・手続き(減) = 職員の対心(減)
 学生の不利益がなくなる
 ・"学びの見える化(授業ごとの課題、レポート振り直し、到達度レポート等)をすることにより、
 学習意欲UP
 ・正しい情報が得られる
 ・教員→受講者の反応がすぐ分かる。データ化
 しやすい → アンケート、レポート内容

理想
 →教育・授業内容の充実
 ・学生により良いサービス提供が可能
 ・教職員の業務負担軽減
 ・自己点検ができ、授業改善に活かせる

そのために ↑
 ① 客観的に読めるデータ入手
 (アンケートの実施、SNS普及率の調査)
 ② ICT不明点の洗い出し
 = 部署、先生ごとに対応できる
 説明